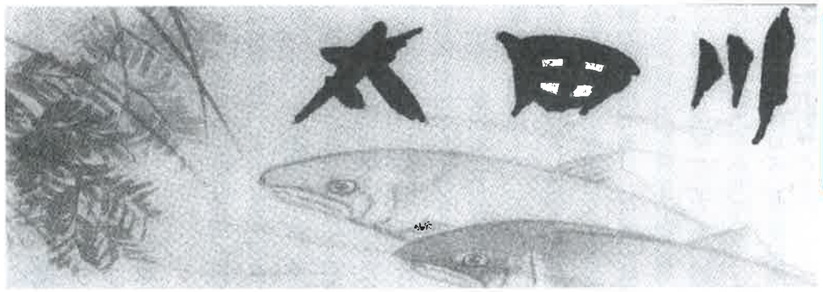

誰もが　安心して
　住み慣れた　この地で
暮らし続けられる
　福祉のまちづくり

編集発行
可部南地区
社会福祉協議会
会　長　中山忠幸
編集責任者　小泉祥二郎
発行部数　2,500

（題字：絵　藤井脩策）

第９０号　平成２９年８月１日発行

印刷　可部プリント社

H29年度開催予定

毎週土曜日 10:00～11:30						
H29 6月	3	10	17	24		
7月	1	8	15	22	29	
8月	5	ー	19	26		
9月	2	9	16	23	30	
10月	7	14	21	28		
11月	ー	11	18	25		
12月	2	9	16	23		
H30 1月	6	13	20	27		
2月	3	10	17	24		
3月	3	10	17	24	31	

（予定は変更になる場合があります。）

ゆめクラブ・可部南女性会・可部南地区社協

場所：可部福祉センター
（可部南２丁目23-28）
- 申し込み不要
- どなたでも参加自由
- 参加費無料
- お飲み物をご持参ください

★お問合せ窓口
可部南社会福祉協議会
★TEL・FAX
082-812-2940
（月・水・金　9:30～11:30）
★休館日
火曜日、祝日の翌日
８月６日、年末年始

暑中お見舞い申し上げます

◎ 可部南地区社会福祉協議会
◎ 可部南地区民生委員・児童委員協議会
◎ 可部南学区公衆衛生推進協議会
◎ 可部南地区青少年健全育成連絡協議会
◎ 可部南地区防犯組合連合会
◎ 可部南学区体育協会
◎ 可部南学区ゆめクラブ連合会
◎ 可部南学区女性会
◎ 可部南小学校ＰＴＡ
◎ 可部南学区子ども会育成協議会
◎ 可部南地域活動連絡協議会
◎ 可部南地区母子寡婦福祉会
◎ 可部南学区町内会・自治会連絡協議会
◎ 可部南学区自主防災会連合会
◎ 可部南学区コミュニティ交流協議会
◎ 可部南学区献血推進協力会

★高齢者地域支え合い事業　地域包括ケアシステムの構築を★

可部南地区社会福祉協議会
会長　中山忠幸

高齢化が急速に進むなか、団塊の世代が75歳以上となる２０２５年を目途に、広島市は本年（平成29年）度より要介護の状態になっても、住み慣れた地域で住い・医療・介護・予防・生活支援が、一体的に提供され、自分らしい暮らしを続けられる**『地域包括ケアシステム』**「介護予防・日常生活支援総合事業」が本格的に取り組まれます。可部南学区も参画してまいります。

高齢者介護予防事業に

○まちの保健室可部南健康サロン
毎週土曜日　10時　可部福祉センター

○第二東亜ハイツ女性会「輝」
毎週水曜日　14時　第二東亜ハイツ集会所

○第一東亜ハイツいきいきサロンどんぐり
毎月第四月曜日　14時　第一東亜ハイツ集会所

更に、高齢者の社会参加を促進する「高齢者いきいき活動ポイント事業」を導入し、高齢者が行う諸活動の実績に基づきポイントを奨励金として支給するものです。

地域にあっては、高齢者の急増に対応する、生活支援サービスの担い手と、高齢者参加の信頼と共感を拡げる効果的なサービス体系を組み立て、一層の普及を共に取り組みたいと考えております。

地域の明るい取り組みとして、皆様のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

のばそう健康寿命
～みんなで楽しく「いきいき百歳体操」～

広島市三入・可部地域包括支援センター
センター長　井田　浩美

健康寿命を長く、いつまでも元気に暮らすため介護予防の取り組みとして市では運動を中心とした通いの場「介護予防拠点」づくりを地域住民と進めています。地域住民が中心となって地域全体で取り組むことで、地域全体が活性化し、元気な高齢者の方が増えていくのです。可部南地区でも、可部福祉センター、第２東亜ハイツ集会所で開催されています。

「介護予防拠点」では手首や足首におもりをつけて体操し筋力をつける「いきいき百歳体操」を行っています。週１回継続して行うことで効果が期待できる体操です。

また、今年９月から※「広島市高齢者いきいき活動ポイント事業」が開始されます。この「介護予防拠点」で体操に取り組むこともポイントの対象となっています。

当センターでは、「介護予防拠点」の立ち上げ支援を行っています。ご相談お待ちしています。

※「広島市高齢者いきいきポイント事業」とは高齢者の方の社会参加を促進するためボランティアや健康づくり等の活動実績にポイントを付与しポイントに応じて、奨励金を支給する事業です。

☆☆☆愛の灯☆☆☆

平成29年1月以降、下記の方々よりご寄付をいただきました。

真心のこもったご厚志に深く感謝申しあげ、ここに紙面をかりてご報告申し上げます。

可部南一丁目	中野朋記	様
可部南一丁目	蔵崎正彦	様
可部南一丁目	村松不美子	様
可部南三丁目	古矢一義	様
可部南二丁目	柳田勉	様
可部南三丁目	谷本紘子	様

可部南地区社協では一般企業や住民の皆様からの香典返しに代えてのご寄付や福祉活動支援をお受けしております。

ご厚志は地区社協で貴重な財源として「ふれあいいきいきサロン」や「ボランティアバンク」「高齢者福祉」など地域福祉活動に有効活用させていただいております。

皆様のご協力よろしくお願い申し上げます。

可部南地区社会福祉協議会
会計　溝広　英雄

元気いっぱい笑顔あふれて

子育てサロン・かべみなみ
染井　千恵

「おはよう。」遊具に向かう子ども達。遊ぶ姿を見守りながらお喋りタイムのお母さん。心おだやかな時間です。「元気をもらいに来たよ。」とご高齢の方も来られ嬉しい四世代の交流。みなさんも遊びに来てください。

地区社協だより

◆29年度事業活動
4月　広報紙「太田川」８・12月発刊
　　社協だより「ひまわり」
　　５・８・11・２月季刊発刊
5月　ひとり暮らし高齢者のお花見会
　　第１回理事会
6月　ボランティア会員の集い
　　いきいきサロン・
　　福祉委員の集い
7月　納涼シアターの開催
10月　共同募金活動
11月　第２回理事会
12月　紙門松配布

◆まちの保健室可部南健康サロン
（可部福祉センター）
健康予防百歳体操
毎週土曜日　10時開催

◆子育てサロン
毎月　第一　金曜日　開催

◆救急医療情報キットの推進

◆本年度より地域包括ケアシステムの構築「広島市介護予防の拠点整備」と「日常生活支援総合事業」に参画してまいります

◆ボランティア会員と支援は随時受付

◆健康ウォーキングのおすすめ
可部南楽しく歩こう会　第３木曜日
可部東ゆかいな仲間たち　第４金曜日

編集後記

第90号「太田川」発刊に多くの関係者ならびに、関係団体からご寄稿くださいまして誠にありがとうございました。

地域に根差した様々な活動、行事をより多く掲載したいと思っています。今後とも皆様のご理解とご協力をよろしくお願いします。

小泉祥二郎

ご挨拶

可部公民館
館長　田邊　英隆

本年度から可部公民館の館長としてお世話になっております田邊と申します。よろしくお願いいたします。

社協におかれましては、日頃から、よりよい地域福祉の実現のために献身的に御尽力いただいておりますことに心から感謝申し上げます。

私は、安佐北区での勤務も公民館で働くのも初めてで、不安いっぱいで赴任してまいりましたが、可部は古くから栄え、その歴史と文化を今に伝える魅力的な街であり、可部の皆様の温かい心と我が街を愛する熱い思いに触れる中で、公民館としても、皆様と一体となって魅力ある地域づくりに取り組んでいかなければいけない思いを新たにしております。

また、公民館は、生涯学びながら人と人とがつながり、交流を深めていただく場でもありますので、気軽に足を運んでいただき、皆様の輪を広めていただきたいと思っております。

今後とも、地域に溶け込み皆様と共に歩んでいける公民館であるよう力を注いでまいりたいと思いますので、御支援・御協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

可部南児童館
館長　吉岡　恵子

今年度、真亀児童館より異動してまいりました吉岡と申します。

可部南児童館で素敵だなと感じたことは児童館の特徴である幅広い年齢差のある子どもたちによる集団遊びです。それに児童館の月例行事が地域の方々に支えられ、ご指導いただいていることです。この恵まれた環境を大切にしていきたいと思います。

児童館は遊びを通して、子どもたちの健康を増進し、情操を豊かにする「遊びの城」です。より多くの子どもたちに、自分の好きなことや、やりたい事を見つけるきっかけの場になればと願っています。又、子どもたちの児童館の利用の仕方、思いは様々です。ひとりひとりの子どもたちの思いを大切にし、安心で安全な居場所となるよう努めてまいります。

小学校や中学校と連携させて頂き、母親クラブの皆様、地域の皆様に支えていただき、ご指導いただきながら、子どもたちと寄り添い、見守り、一緒に遊び、気軽に遊びに来れる場になるよう、努力してまいります。

どうぞ、これからもご支援、ご協力宜しくお願い致します。

今年度の自主防災活動について

可部南学区
自主防災会連合会
会長　竹本　靖則

3年前8月20日（8・20）の集中豪雨で多くの死者や負傷者それに多くの人々が避難を余儀なくされたことから、緊急事業として砂防堰堤が整備され、また、これまでの河川氾濫の経験をもとに河川改修・整備が実施されてきました。しかし、これらハード対応だけで完全に災害を防ぐことは難しいと言われています。

近年、日本各地で発生した大きな災害の経験から、行政の助け（公助）による早期対応には限界が有り、住民の自助・共助が大きなカとなっていると分析されています。その為に「自分の身は自分で守る（自助）－自分達の地域は自分達で守る（共助）」ことができる自主防災力の向上を目指した活動が各地で展開されています。

広島市では、一昨年度は土砂災害警戒区域を指定したハザードマップを、今年4月には太田川や根の谷川の氾濫による浸水想定マップを見直しています。これらの災害に対応した自主防災力向上の為に、広島市は「防災まちづくり事業」として次の3項目を推進しています。

①災害に備えた自分達で作る「わがまち防災マップ」作成支援
②将来の地域の防災リーダーの養成
③防災に関する知識・技術の習得

可部南学区自主防災会連合会としても当地域の土砂災害や水害、それに地震等の防災、減災の為に、これら活動を皆様と一緒に取り組んでまいります。ご協力をよろしくお願いします。

はじめまして

可部地区
防犯組合連合会
可部南地区支部長
山本　宏昭

可部南地区支部長になりました山本です。

皆様には日頃より防犯活動にご協力いただきありがとうございます。

いつも見守りしながら行動していますが、高齢者を狙う悪質商法が急増しています。健康食品を一方的に送り付けてきたり、投資商品のトラブルが多発。「泣き寝入りせず、まずは相談を」と消費生活センターが注意をよびかけています。

日本一安全・安心なまち。子ども・女性・高齢者を犯罪から守るよう努力いたします。

今後ともよろしくお願いいたします。

「押し買い」かも

貴金属を買い取らせない！

平成二十九年度「理事会構成員」

（順不同）

町内会・自治会代表者

上原　上	岡本　等
上原　中	土井　博樹
上原　下	竹本　靖則
上原　前	石原　誠
上原五輪田	中村　光政
上原　二区	上杉　浩二
上原　電電	井村知佳子
第一東亜	長原　康彦
第二東亜	松井　修
三菱団地	門口　広人
中島	和田　耕二
中屋	迫田　一則
下の浜	串井　武憲
中島市住	浅田　聖二

民生・児童委員

小西　正明	
串井　真代	
藤川　明美	
正尺　豊子	
小泉小夜子	
伊藤　正恵	
川西　千年	
井上　早苗	

各種団体代表

地区社協	中山　忠幸
民生・児童委員（協）	篠原　典祐
公衆衛生推進（連）	松井　修
青少年育成（協）	佐々木成吉
地区防犯（連）	山本　宏昭
学区体育協会	岡田　政明
学区ゆめクラブ（連）	髙村　壽夫
可部南女性会	中山　幸子
可部南小ＰＴＡ	的場　千恵
子ども会育成（協）	串井　良成
地域活動連絡（協）	串井　真代
母子寡婦福祉（連）	上川　久子
町・自治会（連）	松井　修
自主防災会（連）	竹本　靖則
コミュニティ（協）	中山　忠幸
献血推進（協）	小西　正明

平成二十九年度「福祉委員」

上原二区	隅坂　薫
上原電電	木下　義行
大島	芳子　岡崎　康之
上原　中	
上原　前	山田　温美
上原　上	藤井　保美　桑原　教子
上原　下	早戸　直江　持田　卓三
上原上五輪田	水田　留美　木下　敬子
三菱団地	上中すみこ　土屋　初江
第一東亜ハイツ	河野　和子
	遠原恵美子　平井　幸子
	斉藤　和子　藤原ツヤ子
	水口　昭恵　伊藤　博子
第二東亜ハイツ	中宗　眞弓
	楢田加津子　宮本　義明
	中江　幸子　宮本　崇史
藤岡　勝	松井　修
中島	松広眞紀子　高田眞喜子
	梶岡まゆみ　原田　優子
	濱広　好子　山下　育恵
	三浦　忠晴　有末　妙子
大原　利枝	井上　早苗
下ノ浜	沖　信恵
友国　栄	鎌田　利子
中屋	日丸百合子　横山トシエ
福田　恵子	
葛西　明美	吉川カオル

可部南地区社会福祉協議会役職員

会長	中山　忠幸
副会長	濱広　英雄
副会長	山西　幸子
事務局長	高田　耕造
会計	大和　積夫
高齢者支援部会長	高田真喜子
地域福祉推進委員	〃
高齢者支援部会	藤原　譲二
高齢者行事部会長	有末　妙子
社会員献部会長	木村　浩
広報紙「ひまわり」編集長	脇　哲夫
高齢者行事部会	三浦　忠晴
高齢者行事部会	葛西　明美
子育てサロン主宰	染井　千恵
児童福祉部会	吉賀　信子

広報紙「太田川」編集委員

（順不同）

編集長	小泉祥二郎
編集委員	藤川　明美
〃	上中　清嗣
〃	正尺　信彦
〃	葛西　明美

平成28年度決算および平成29年度予算

収入の部　（単位：円）

科目	平成28年度予算額	平成28年度決算額	平成29年度予算額
前年度繰越金	267,964	267,964	378,103
会費・賛助会費	568,500	567,420	563,300
共同募金配分金	265,000	289,060	275,000
新・福祉のまちづくり	150,000	150,000	150,000
健康サロン助成金	50,000	50,000	0
市補助金、他	105,000	105,000	105,000
参加者負担金	135,000	127,600	72,500
寄付金	100,000	180,000	50,000
雑収入	8,536	10,807	6,097
計	1,382,036	1,479,887	1,221,897
合計	1,650,000	1,747,851	1,600,000

支出の部　（単位：円）

科目	平成28年度予算額	平成28年度決算額	平成29年度予算額
会議費	30,000	21,652	30,000
事務費	120,000	107,190	110,000
通信費	60,000	39,595	40,000
広報費	280,000	270,880	280,000
研修費	50,000	26,000	50,000
区社協会費	105,000	102,300	105,000
募金・義援金	45,000	60,000	50,000
保険料	35,000	20,100	35,000
雑費	35,000	35,500	40,000
ボ・バンク活動費	26,000	14,870	50,000
男性料理教室	104,000	87,318	0
まちの保健室	50,000	15,112	50,000
お花見会	200,000	193,508	210,000
サロン助成金	200,000	200,000	200,000
サロン研修・活動費	130,000	5,130	70,000
子育てサロン	60,000	36,799	30,000
救急救命情報キット	30,000	9,866	50,000
紙門松	40,000	23,928	30,000
特別資金	0	100,000	100,000
予備費	50,000	0	70,000
計	1,650,000	1,369,748	1,600,000
次年度繰越金	0	378,103	0
合計	1,650,000	1,747,851	1,600,000

（注）特別資金は、別会計で、（29年3月末現在 166,795円）記念事業などに運用している。